

「講演会・シンポジウム参加の皆様へ：光機能材料研究会会員限定の Zoom でのウェブ講演会のご案内」

光機能材料研究会講演会第86回講演会  
**光触媒基礎の基礎2022**

日時：2022年4月22日（金）13：15～16：35（入室13：00）「完全事前予約制」

※本講演会は、新型コロナウイルスの状況に鑑みまして、会員限定の Zoom でのウェブ講演会とさせていただきます。この案内は会員でない方にもお送りしています。会員でない方は、この機会に HP (pfma.jp) 掲載の入会のご案内をご覧ください、入会をご検討いただければ幸いです。

お申込みいただいた参加登録者の皆様にアクセス用 URL 等を通知いたします。

なお、アクセス用 URL はご登録者以外に絶対に知らせないでください。 **配布資料はございません。**

主催：光機能材料研究会 事務局 〒278-8510千葉県野田市山崎2641

東京理科大学スペースシステム創造研究センター光触媒国際ユニット内 FAX：04-7122-1742

本講演会は、北海道大学の 大谷文章先生をお招きして、光触媒反応の基礎について、その考え方、つまり基礎の基礎からじっくりと講演いただきます。光触媒技術の関係者はもとより、材料科学の研究者や光触媒の初心者の方にもお役にたつ講演会ですので、ご参集くださいますようご案内申し上げます。

講師：大谷文章先生（北海道大学触媒科学研究所・教授）

=プログラム=

13：15 開会にあたって

13：20-14：50

第1講：光触媒の原理再考—脱バンド構造モデル

第2講：多電子移動反応—不均一系光触媒反応における光吸収との関係

15：00-16：30

第3講：金属酸化物（光触媒）粉末の同定—固体材料の新評価法

第4講：光触媒の構造—活性相関の新しい考え方

16：30 閉会にあたって

大谷先生よりのメッセージ：光触媒反応の基礎について、その考え方や研究法について解説します。光触媒はさまざまな機能材料のなかでも比較的簡単に調製できるものですが、光触媒の構造、反応機構や反応条件が速度におよぼす影響は単純ではありません。これはある意味で「光触媒の構造と反応の速度論」が適切に評価されてこなかったためです。ここでは、新しい考え方にもとづいて光触媒を評価し、さらに高い性能の光触媒を設計するための基礎、とくに速度論について解説し、これにもとづいた光触媒の評価について詳述します。

「参加申込書」（完全事前予約制）

準備の都合上、4月15日（金）までにお申し込みください。定員になり次第締め切り。

|          |   |     |   |  |
|----------|---|-----|---|--|
| 資格       | <input type="checkbox"/> 法人会員3名まで無料 <input type="checkbox"/> 個人会員（学術）ご本人様無料 |     | <input type="checkbox"/> 学生無料（一研究室3名まで） |  |
| 社名       |   |     |   |  |
| 所属       |   |     |   |  |
| 氏名（ふりがな） |   |     |   |  |
| 住所       | 〒   |     |   |  |
| FAX      |   | TEL |   |  |
| e-mail   |   |     |   |  |

申し込み：FAX 04-7122-1742（受付確認のご返信はいたしませんのでご了承ください。）